

目次

「涙は人間がつくるいちばん小さな海」アンデルセン	04
「大切なものは目に見えない」サン・テグジュペリ	06
「夢見ることができるときなら、実現できる」W・テイズニ	08
「私がある方を愛したように、あなた方も相愛しなさい」マザー・テレサ	10
「人間尊重」出光佐三	12
「世に生を得るは事を成すにあり」坂本龍馬	14
「敬天愛人」西郷隆盛	16
「惜福、分福、植福」幸田露伴	18
「太陽と死は直視できない」ラロッシュ・フォー	20
「幸福になる一番簡単な方法」ラッセル	22
「幸せであれ平穏であれ安らかであれ」ブッダ	24
「哲学は死の予行演習」ソクラテス	26

本誌は、「リビング北九州」2013年5月25日号～2014年4月27日号の連載エッセイをまとめたものです。

Profile

Tsunekazu Sakuma



佐久間 庸和

さくま つねかず

1963年、北九州市生まれ。

(株)サンレー代表取締役社長。九州国際大学および北陸大学客員教授。

一条真也のペンネームで作家としても活躍し、哲学・芸術・宗教について造詣の深さには定評がある。日本人の「こころ」の三本柱である神道・仏教・儒教を総合的に研究する「平成心学塾」を主宰。また、庸軒(ようけん)の雅号で歌人としても知られる。

2012年2月、孔子および『論語』の精神の普及に貢献したことを高く評価され、第2回「孔子文化賞」を稲盛和夫氏と同時に受賞する。2014年6月、業界団体である「全国冠婚葬祭互助会連盟(全互連)」の会長に就任する。

一条真也の主な著書

『涙は世界で一番小さな海～「幸福」と「死」を考える、大人の童話の読み方』(三五館)

『孔子とドラッカー～ハートフル・マネジメント』(三五館)

『龍馬とカエサル～ハートフル・リーダーシップの研究』(三五館)

『世界をつくった八大聖人～人類の教師たちのメッセージ』(PHP新書)

『慈悲 自由訳』(三五館)

『面白いぞ人間学～人生の糧になる101冊の本』(致知出版社)

『あらゆる本が面白く読める方法～万能の読書術』(三五館)

『死が怖くなくなる読書～「おそれ」も「かなしみ」も消えていくブックガイド』(現代書林)

その他、60冊を超える著書がある。

さらに詳しく知りたい方へ。

<http://www.ichijyo-shinya.com>

(一条真也オフィシャル・サイト)

<http://www.ichijyobon.com>

(一条真也オフィシャル・ブックサイト)

<http://www.ichijyo-bookreview.com> (一条真也オフィシャル・ブックレビューサイト)